

第18回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第18回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」として、「エネルギーを無駄なく最大限効率的に利用する社会の実現」について議論を行いました。
- 今回の研究会では、まず事務局から、前回の議論も含めた「これまでの経過と研究会報告書のフォローアップ」について、報告がありました。また、北九州市環境局環境未来都市推進部の古田部長から「G7エネルギー大臣会合の開催結果」について報告がありました。
- 次に、環境省地球環境局地球温暖化対策課の沼田課長補佐から、本年5月13日に閣議決定された「地球温暖化対策計画」を基に、「これからの地球温暖化対策について」、御講演をいただきました。
講演では、地域におけるエネルギーの効率的利用を考える上で「環境価値」という視点から重要な情報を御提供いただけたと、沼田課長補佐には感謝しております。
- 次に、事務局から、「これまでの地球温暖化対策推進計画の総括や今後策定する計画の骨子案について」、報告がありました。
- 次に、グリーンリバーホールディングス株式会社の長瀬代表取締役から、「再生可能エネルギーと次世代農業の連携」について、御講演をいただきました。
講演では、再生可能エネルギーと異分野との連携による地域振興・雇用創出を考える上で参考となる貴重な情報をいただけたと、長瀬代表取締役には感謝しております。
- 次に、九州大学炭素資源国際教育研究センターの原田委員代理から、本研究会の提言に沿った取組として、「九州大学筑紫地区および周辺公共設備における再生可能エネルギー面的利用構想」について、情報提供していただきました。
- 次に、これらの講演・情報提供を基に、エネルギーを最大限効率的に利用する社会の実現に向けて、地方が果たすべき役割について委員間で討議を行いました。
- 最後に、当研究会の今後の活動(案)について、事務局から説明がありました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」として、エネルギーを最大限効率的に利用する社会の方向性が明確になりましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組みに活かしていただきたいと考えております。